



## 報告書—「馬場口先生の講演会」

于漪（ゆい）D1

この院生企画セミナーは、授業の一環として、教員と博士後期課程の学生が協力して、講演等を開催する企画を進めていくことを目指して行われています。今回は、その第1回目で、情報科学科の学生による企画セミナー「映像サーベイランスとプライバシー保護処理」と題して、大阪大学大学院工学研究科の馬場口登教授を講師に招いて、11月20日（月）に開催されました。

馬場口先生の講演は、大学院での研究の進め方や院生に対する指導という点からみても、刺激のある内容でした。講演会は約2時間で、当初の予定より25分ぐらい伸び、熱心な議論が行われました。出席者は、教員3人と本学学生・院生13人です。小規模ながら充実した講演会でした。ご多忙にもかかわらず、来学くださった馬場口先生に感謝申し上げます。



「映像サーベイランスとプライバシー保護処理」講演会風景

### 【講演要旨】

近年、日本が以前よりも安全な国でなくなったと思う人々が増えるなかで、セキュリティとプライバシーを統一的に考えることが必要です。安全・安心な社会を構築する国民的な課題が議論される中、映像サーベイランス（監視カメラ）を安心な社会システムとして定着させるために、社会的・法的・心理学的・技術的問題を解決して、プライバシーやセキュリティを可能な限り尊重するシステムに変貌させることは重要です。プライバシーを保護するための画像・映像処理を備えた映像サーベイランスシステム PriSurv（Privacy Protected Video Surveillance System）を紹介し、安心な映像サーベイランスについて議論します。特に、映像サーベイランスにおける情報獲得（センサー）、情報流通（ネットワーク）、情報表示（インタフェース）に対し、プライバシーとセキュリティをトータルに考え、最新の現状を示しています。